

青岛海洋大学出版社



李伯齐 主编

中國古代文學 作品導讀

中国古代文学作品导读

(下)

李伯齐 许金榜 主编

青岛海洋大学出版社

古代文学作品导读
李伯齐 许金榜主编
青岛海洋大学出版社出版
(青岛市鱼山路5号)
新华书店发行
山东新华印刷厂德州厂印刷

*

1990年12月第1版 1990年12月第1次印刷
32开本(850×1168毫米 28.875印张 788千字
印数1—5000

ISBN 7—81026—113—4/I·8

定价：14.50元

目 录

上 册

先 秦 部 分

先秦文学概况	(3)
诗 经	※氓	(7)
	※君子于役	(11)
	伐檀	(12)
	※蒹葭	(14)
	※七月	(15)
	采薇	(20)
	生民	(23)
左 传	※晋楚城濮之战	(29)
	烛之武退秦师	(40)
国 语	召公谏弭谤	(43)
战 国 策	冯谖客孟尝君	(47)
	※触龙说赵太后	(52)
论 语	※子路、曾皙、冉有、公西华侍坐章	(57)
墨 子	非攻上	(61)
孟 子	※齐桓晋文之事章	(65)
庄 子	※逍遥游(节录)	(75)
荀 子	※劝学篇(节录)	(82)
韩 非 子	外储说右上	(89)
楚 辞	离骚	(93)

※山鬼	(111)
涉江	(114)
※哀郢	(117)

秦汉魏晋南北朝部分

秦汉魏晋南北朝文学概况	(125)
李斯 谏逐客书	(131)
贾谊 ※过秦论(上篇)	(139)
枚乘 七发(节选)	(151)
司马迁 ※项羽本纪(节选)	(160)
魏其武安侯列传	(181)
班固 ※苏武传(节选)	(208)
张衡 归田赋	(221)
汉乐府 ※陌上桑	(226)
※东门行	(230)
上山采蘼芜	(231)
十五从军征	(233)
※古诗为焦仲卿妻作	(234)
古诗十九首 行行重行行	(250)
※迢迢牵牛星	(252)
曹操 萧何律	(254)
步出夏门行	(255)
※短歌行	(257)
曹丕 燕歌行	(260)
曹植 白马篇	(262)
※赠白马王彪并序	(264)
王粲 七哀诗(其一)	(270)
登楼赋	(271)

陈 珮	饮马长城窟行	(275)
蔡琰	悲愤诗	(277)
诸葛亮	※出师表	(282)
阮籍	※咏怀[夜中不能寐]	(287)
	[嘉树下成蹊]	(288)
	[驾言发魏都]	(289)
嵇 康	与山巨源绝交书	(291)
左思	咏史[弱冠弄柔翰]	(302)
	※[郁郁涧底松]	(304)
刘琨	重赠卢谌	(306)
干 宝	韩凭夫妇	(309)
	李寄斩蛇	(311)
陶渊明	※归园田居[少无适俗韵]	(314)
	[野外罕人事]	(315)
	[种豆南山下]	(315)
	※饮酒[“结庐在人境”]	(317)
	※移居二首	(318)
	※咏荆轲	(320)
	※桃花源记并诗	(322)
	归去来兮辞并序	(326)
谢灵运	石壁精舍还湖中作	(332)
	登池上楼	(333)
刘义庆	过江诸人	(336)
	周处年少时	(337)
鲍 照	代出自蓟北门行	(340)
	拟行路难(其六)	(342)
	芜城赋	(344)
孔稚珪	北山移文	(349)

谢 胄	晚登三山还望京邑	(358)
	王孙游	(359)
何 遂	相送	(361)
郦道元	※三峡	(362)
王 襄	渡河北	(365)
庾 信	拟咏怀[萧条亭障远]	(367)
	重别周尚书	(368)
南朝乐府民歌	子夜歌[始欲识郎时]	(370)
	读曲歌	(371)
	那呵滩	(372)
	※西洲曲	(374)
北朝乐府民歌	郕郕王歌辞	(376)
	※敕勒歌	(377)
	※木兰诗	(378)

下 册

唐、五代部分

唐、五代文学概况	(385)
骆宾王	※在狱咏蝉	(391)
王 勃	送杜少府之任蜀川	(393)
	秋日登洪府滕王阁饯别序	(394)
张若虚	※春江花月夜	(404)
陈子昂	※感遇[兰若生春夏]	(407)
	登幽州台歌	(408)
孟浩然	※过故人庄	(410)
	临洞庭湖赠张丞相	(411)

王 维	渭川田家	(413)
	※山居秋暝	(414)
	鸟鸣涧	(415)
	※送元二使安西	(416)
李 白	※蜀道难	(418)
	※梦游天姥吟留别	(421)
	将进酒	(424)
	※宣州谢朓楼饯别校书叔云	(426)
	※望庐山瀑布	(428)
	行路难	(429)
王之涣	登鹳雀楼	(431)
王昌龄	出塞	(433)
高 适	※燕歌行	(435)
岑 参	走马川行奉送封大夫出师西征	(439)
	※白雪歌送武判官归京	(441)
杜 甫	※自京赴奉先县咏怀五百字	(443)
	※春望	(450)
	※石壕吏	(451)
	※新婚别	(453)
	※闻官军收河南河北	(456)
	※登高	(457)
张志和	渔歌子	(460)
韦应物	滁州西涧	(462)
张 翊	野老歌	(464)
韩 愈	※左迁至蓝关示侄孙湘	(466)
	※进学解	(467)
	※张中丞传后叙	(475)
	※柳子厚墓志铭	(482)

	※师说	(488)
刘禹锡	※西塞山怀古	(492)
	酬乐天扬州初逢席上见赠	(493)
白居易	※卖炭翁	(496)
	※琵琶行	(498)
	※钱塘湖春行	(502)
	长恨歌	(503)
柳宗元	※登柳州城楼寄漳汀封连四州刺史	(511)
	※捕蛇者说	(512)
	※小石潭记	(517)
	※段太尉逸事状	(519)
	三戒并序(选一)	(528)
白行简	李娃传	(530)
李贺	※梦天	(547)
	※雁门太守行	(548)
杜牧	※过华清宫	(550)
	山行	(551)
	※赤壁	(552)
李商隐	※无题	(553)
温庭筠	菩萨蛮[小山重迭]	(555)
韦庄	菩萨蛮[人人尽说]	(557)
李煜	浪淘沙[帘外雨潺潺]	(559)
	※虞美人[春花秋月]	(560)
杜荀鹤	※山中寡妇	(562)

宋金部分

宋金文学概况	(567)	
王禹偁	村行	(571)

柳永	望海潮[东南形胜].....	(573)
	※雨霖铃[寒蝉凄切].....	(575)
范仲淹	※渔家傲[塞下秋来风景异].....	(577)
	※岳阳楼记.....	(578)
张先	天仙子[水调数声持酒听].....	(584)
晏殊	浣溪沙[一曲新词酒一杯].....	(586)
欧阳修	戏答元珍.....	(588)
	※踏莎行[候馆梅残].....	(589)
	※秋声赋.....	(590)
苏舜钦	淮中晚泊犊头.....	(594)
王安石	※明妃曲[明妃初出汉宫时].....	(596)
	泊船瓜州.....	(598)
	※答司马谏议书.....	(599)
苏轼	六月二十七日望湖楼醉书	
	[黑云翻墨未遮山].....	(602)
	※饮湖上初晴后雨[水光潋滟晴方好].....	(603)
	浣溪沙[徐门石潭谢雨].....	(604)
	※念奴娇[大江东去].....	(605)
	※卜算子[缺月挂疏桐].....	(607)
	※前赤壁赋.....	(608)
黄庭坚	※登快阁.....	(613)
秦观	望海潮[梅英疏淡].....	(615)
	※踏莎行[雾失楼台].....	(617)
周邦彦	※兰陵王[柳阴直].....	(619)
	苏幕遮[燎沉香].....	(621)
李清照	※醉花阴[薄雾浓云愁永昼].....	(623)
	※声声慢[寻寻觅觅].....	(624)
陆游	游山西村.....	(627)

	关山月	(628)
	※书愤	(630)
	※示儿	(631)
	※钗头凤	(632)
范成大	※四时田园杂兴[昼出耘田夜绩麻]	(635)
	[新筑场泥镜面平]	(636)
杨万里	插秧歌	(638)
	※初入淮河[船离洪泽岸头沙][两岸舟船各背驰] [中原父老莫空谈]	(639)
张孝祥	※六州歌头[长淮望断]	(641)
辛弃疾	水龙吟[登建康赏心亭]	(644)
	※摸鱼儿[更能消几番风雨]	(646)
	※永遇乐[千古江山]	(649)
	清平乐[茅檐低小]	(651)
	※破阵子[为陈同甫赋壮词以寄之]	(652)
姜夔	※扬州慢[淮左名都]	(655)
文天祥	※过零丁洋	(658)
宋话本	碾玉观音	(660)
元好问	岐阳	(679)

元明清近代部分

元明清近代文学概况	(683)	
关汉卿	※窦娥冤[第三折]	(686)
	南吕一枝花[不伏老](节录)	(692)
马致远	双调夜行船[秋思]	(694)
	天净沙[秋思]	(697)
王实甫	西厢记[第四本第三折]	(698)
萨都刺	上京即事(二首)	(706)

张可久	金字经[春晚].....	(708)
睢景臣	※般涉调哨遍[高祖还乡].....	(709)
张养浩	※山坡羊[潼关怀古].....	(713)
高 明	琵琶记[糟糠自厌].....	(715)
宋 濂	※送东阳马生序.....	(721)
刘 基	卖柑者言.....	(726)
高 启	登金陵雨花台望大江.....	(730)
王 益	朝天子[咏喇叭].....	(733)
李梦阳	秋望.....	(735)
归有光	※项脊轩志.....	(737)
李攀龙	挽王中丞(二首).....	(743)
宗 臣	报刘一丈书.....	(745)
王世贞	登太白楼.....	(750)
李 贽	童心说.....	(752)
汤显祖	牡丹亭[惊梦].....	(758)
袁宏道	虎丘记.....	(764)
冯梦龙	杜十娘怒沉百宝箱.....	(769)
张岱	西湖七月半.....	(797)
张溥	五人墓碑记.....	(801)
陈子龙	小车行.....	(807)
吴伟业	圆圆曲.....	(809)
黄宗羲	原君.....	(815)
顾炎武	又酬傅处士次韵(二首).....	(821)
	精卫.....	(823)
	廉耻.....	(824)
吴嘉纪	绝句.....	(827)
陈维崧	贺新郎[赠苏昆生].....	(828)
朱彝尊	桂殿秋[思往事].....	(831)

王士祯	真州绝句[江干多是钓人居].....	(832)
	秦淮杂诗[年来肠断秣陵舟].....	(833)
蒲松龄	※席方平.....	(834)
洪昇	长生殿[惊变].....	(845)
孔尚任	桃花扇[却奁].....	(852)
纳兰性德	长相思[山一程]	(859)
张惠言	木兰花慢[杨花].....	(860)
方苞	左忠毅公逸事.....	(862)
郑燮	渔家.....	(866)
袁枚	同金十一沛恩游栖霞寺望桂林诸山.....	(867)
	祭妹文.....	(870)
姚鼐	※登泰山记.....	(876)
张维屏	三元里.....	(880)
龚自珍	※咏史.....	(883)
	己亥杂诗[浩荡离愁白日斜].....	(884)
	[※九州生气恃风雷].....	(885)
	※病梅馆记.....	(886)
魏源	寰海十章[谁奏中宵秘密章].....	(889)
黄遵宪	哀旅顺.....	(891)
况周颐	苏武慢[愁入云遥].....	(893)
秋瑾	※黄海舟中日人索句并见日俄战争地图.....	(895)
	满江红[肮脏尘寰].....	(896)

唐、五代文学概况

我国的古代文学发展到唐朝，进入了诗歌的黄金时代。短短二百九十年的时间，遗留下的作品竟达四万八千九百首，比西周至南北朝一千六七百年的诗歌总和还要多两三倍以上。就作者而言，“帝王、将相、朝士、布衣、童子、妇人、缁流、羽客，”乃至女冠、倡妓，几乎无所不包，其中，独具风格、名垂后世的作家就有五六十个，也远远超过战国至南北朝著名诗人的总和，而读者群更是遍布社会各阶层。就体裁来说，“三、四、五言，六、七、杂言，乐府歌行、近体、绝句，靡弗备”，而且无体不工，佳作如林。不论是反映现实的广度、深度，还是创作方法的多样化和艺术技巧的完美，都达到前所未有的境界。

唐代也是我国古代文学全面繁荣的时代，散文、传奇，成就辉煌，词和民间通俗讲唱文学（变文），广为流行。它们和诗歌一起，形成多种文学样式争奇斗妍的局面。

以艳绝群芳的诗歌的演变为依据，唐代文学的发展大体可分为四个时期：“有唐三百年诗，众体备矣”，“略而言之，则有初唐、盛唐、中唐、晚唐之不同。”（高棅：《唐诗品汇·总叙》）初唐是指建国（618年）至武韦乱平，玄宗即位（713年），近一百年。盛唐是指开元元年（713）至大历元年（766年），即安史之乱平定以后，约五十年。中唐是指代宗大历至文宗开成年间的七十余年。晚唐是指文宗开成时期直至唐亡（907年），也是七十余年时间。对于各期的界限，虽有异议，但“四唐”之说，已被公认为符合唐诗发展的实际，也大体符合其他文体发展的实际。

数百年积淀的柔弱华艳的文风，本来根深蒂固，又加上唐代初

年的文臣多系陈隋遗老，因此，“唐初沿卑靡浮艳之习”，六朝余风仍在蔓延。但是，时代毕竟不同了：一系列顺应人心的政治经济措施的实施，使生产发展、政治清明，阶级矛盾日趋缓和，社会迅速走向安定。这种方兴未艾的形势，激发广大出身于中下层的知识分子，跃跃欲试，渴望一展政治抱负和文学才能，而门阀制度的被摧毁，也为他们的崛起，提供了机会。于是，号称“初唐四杰”的王勃、杨炯、卢照邻、骆宾王，首先向柔靡华艳之风发起冲击。他们“思革其弊，用光其志，”开拓新的题材领域，把诗歌从狭小的殿苑宫廷、闺房绣户，拉向江山、塞漠、市井等广阔的社会，以刚健清新的风格和真挚热烈的感情，代替了六朝积习的矫揉做作。接着，陈子昂标举“风雅兴寄”、“汉魏风骨”，旗帜鲜明地提出诗歌革新的主张，并见诸实践，用“风骨矫拔之作”，尽洗六朝余风的华艳、纤弱，使“旧习为之一变”、“万象为之改观”，为唐诗的健康发展，端正了大方向。

在初唐诗坛上，沈佺期、宋之间的功勋也是不可抹煞的。他们虽属宫廷诗人，但精研音律，推动律体诗走向成熟和定型化，给唐代诗人提供了极其重要的表现形式。没有律体的发达，唐代的诗歌将大为减色。

历史进入盛唐阶段后，唐帝国的经济发展到“小邑犹藏万家室”的顶峰，国威远扬西北边塞。我国封建社会这一鼎盛时期的到来，使诗歌充满蓬勃向上的精神，形成空前繁荣的局面。这种洋溢着青春活力、闪耀着理想光芒的浪漫主义，被人们誉为“盛唐气象”。以高适、岑参、王昌龄等人为代表的边塞诗派，表达将士和诗人自己从军报国的英雄气概、不畏艰苦的乐观进取精神，描绘雄奇壮伟的边塞风光，就是这种“气象”的反映。当然，封建社会的对外战争，毕竟有他的局限，因此边塞诗人的作品也抒发战士久戎不归的怨望，揭露将帅和士兵之间的苦乐悬殊。它们把一个罕为中原人们所知的新鲜世界，呈现于读者面前，为唐诗增添了瑰丽奇伟的光

彩。

号称盛世的开元、天宝，固然是封建社会的顶峰阶段，但也是各种社会矛盾暗暗发展的危机潜伏期。在这段时间内，由于政治渐趋黑暗，统治阶级内部矛盾激化，加上佛老思想的影响，使得一部分政治上遭受挫折的诗人，退隐林下，遁迹田园，用诗歌描写悠闲宁静的山水田园生活，于是形成了以王维、孟浩然为代表的山水田园诗派。他们的作品虽然缺乏社会内容，但是以诗歌艺术的形式，细致描绘、生动反映大自然的美，这对于唐代诗歌的发展，同样也是极其重要的贡献。

盛唐文学辉煌成就的最鲜明的标志是：诗歌天宇中的“双子星座”——李白和杜甫的出现。李白是继屈原之后的另一个伟大浪漫主义诗人。他那惊心动魄的壮丽诗篇，表现出对光明的热烈向往、对自由的不懈追求，洋溢着蔑视权贵、勇敢冲击礼教制度的叛逆精神，猛烈鞭笞着黑暗的现实。他的诗风豪放飘逸，壮浪纵恣，丰富多彩，瞬息万变，正如杜甫所赞颂：“笔落惊风雨，诗成泣鬼神。”李白的浪漫主义是“盛唐气象”最突出的代表。

伟大的现实主义诗人杜甫生活在唐帝国由盛而衰的剧烈转变期。他长期和下层群众朝夕相处，同嗟饥寒交迫、战乱兵灾、辗转流离之苦。这样的时代和经历，加上他那“宁苦身以利人”，甘愿为国家、黎元牺牲自我的崇高精神，使他的作品象一面巨大的明镜，照见了安史之乱前后社会生活的各个方面，以空前的广阔性和深刻性，反映出时代的灾难，描绘了人民的疾苦，赢得了“诗史”的称誉。

安史之乱以后的“中唐”，中央集权削弱，国家元气大伤，藩镇割据，政治腐败，经济凋弊，生民憔悴，整个社会萧瑟如秋。这时的诗人，头脑中的理想主义光彩明显减少。他们经过一段剧烈的震颤和伤感后，终于慢慢清醒、镇定下来，开始怀着如焚的忧心，直面惨淡的人生，殚精竭虑地谋取危机的克服和王朝的“中兴”。这种精神状态反映在创作上，是改革意识的增强。以白居易、元稹、张籍、王

建为代表的现实主义诗人，继承杜甫传统，自觉地把诗歌当成“补察时缺，洩导人情”的武器，有意识地触及、揭露当代社会生活中那些直接关系到“国之利弊、民之休戚”的最尖锐的矛盾，并且倡导诗歌的通俗化，努力使诗歌不但在思想内容方面，而且在语文形式方面，接近下层民众。他们这种不约而同的创作实践，多采用“即事名篇”的乐府体裁，被后人称为“新乐府运动”。

由于李白、杜甫、王维、岑参、王昌龄等盛唐诗人，在各种体裁的创作上都已取得辉煌成就，因此，中唐诗人要想继续前进，必须开拓、创新。在这种“逼人”的形势下，又加上需要适应中唐特定的社会生活内容，韩愈、李贺、孟郊、刘禹锡等人，在诗歌创作上，皆独辟蹊径。韩愈倡导“以文为诗”，主张把散文技巧融化于诗歌。孟郊以“苦吟”著称，刻画追求风格的瘦硬奇警。李贺向往、描写光怪陆离的鬼神世界、天上仙境，致力于奇幻诡异的浪漫主义。刘禹锡大量写作政治讽刺诗、咏史诗，并努力从巴楚民歌中汲取营养。这些人物和白居易等人一起，共同形成了中唐诗歌流派和艺术风格的多样化，使中唐诗歌，“继盛唐而再盛”。

晚唐是唐帝国的风烛残年、迟暮岁月。历史发展到这一阶段，不但藩镇、宦官、党争这类政治痼疾无法疗治，而且阶级矛盾也已尖锐到爆发农民大起义的地步。面对唐帝国走向衰落、崩溃的颓势已无可挽回的历史现实，诗歌的发展明显分化为两股潮流。一股以晚唐前期的杜牧、李商隐为代表，他们忧国忧民，伤时悯乱，既怀着浓厚的伤感，为他们所属帝国的没落唱出挽歌，又怀着无尽的哀愁，慨叹自己身世的不幸。他们或借助无望的爱情，寄托自己的苦闷，或借助历代王朝兴亡的咏叹，向本阶级统治者发出痛切的然而显然无效的警告。另一股以晚唐后期出身寒微的皮日休、聂夷中、杜荀鹤为代表，他们继承白居易新乐府运动的传统，以锋芒锐利、清浅如话的诗歌，为下层人民作沉痛的控诉。

“时运交移，质文代变”，诗歌的发展，归根结蒂决定于它们所